



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名	日本海テレビジョン放送株式会社
所在地	鳥取市田園町 4 丁目 360 番地
代表者	代表取締役社長 西島 一泰
業種	情報通信業
事業概要	<p>鳥取県、島根県をエリアとする民放テレビ放送（日本テレビ系列）および、その関連事業をおこなっています。</p> <p>当社は山陰地方でいち早く開局したテレビ局で、日本テレビ系列の放送局として山陰エリアの情報発信を担っています。報道番組や情報番組の地上波コンテンツだけでなく、日本海テレビアプリや WEB マガジンなどを通じ、山陰内外の方々に必要な情報をお届けしています。</p>

とっとりSDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名: 日本海テレビジョン放送株式会社]

2030 年に目指す姿

1-1<2030 年に目指す姿> SDGs の達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。

※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社が SDGs の達成に貢献するために 2030 年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

基幹放送事業者である当社はコーポレートメッセージ「いまを伝え、未来を創る。」のもと、地域の方々の生活に必要な情報を発信し、山陰の方々に愛されるテレビ局を目指してきました。そして 2020 年に SDGs 推進宣言をおこない、山陰のテレビ局として、SDG メディア・コンパクトの一員として視聴者に SDGs を理解していただき、行動のきっかけを作ることを目標としています。報道番組や情報番組などを通じて視聴者に地元の取組を紹介したり、イベントやキャンペーンなどを通じて子どもたちなどにも SDGs や環境などについて考えてもらうきっかけ作りをしたりして山陰の SDG s になくなくてはならない役割を担っていきます。

また、自社の活動としても地元の貴重な観光資源である鳥取砂丘のアダプト除草や中海アダプトプログラムにも参加するなど、地域の財産を守る活動もおこなっており、行政や他企業と共に新たな試みにチャレンジしていきます。

自社報道、営業活動や他団体とのコラボレーションにより、地域と共に SDGs の達成に取り組んでいきます。

1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組> 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

社会 8 社会配慮型商品・サービスの提供

社会 10 地域社会への貢献

経済 7 自社以外の経営資源の活用

1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

◆防災の必要性

社会 8 に記載している防災については、昨今、水害、地震、異常気象など災害の危険が増している状況から鳥取でも防災の意識が高まっているように感じています。視聴者の具体的な行動を促すものとして、パートナー企業の商品やサービスの露出の場として活用していきます。一方、防災といってもあらゆる側面が存在し、番組やイベントなど調べることで準備することが多いため、労力と収益のバランスが取れない可能性もあります。

◆地域社会への貢献

社会 10 に記載した自社の地域への取り組みは年々増えています。そのため地域との接点が増えることで企業イメージのアップや日頃の報道、営業活動にもプラスの効果が出ることが想定されますが、収入があるものではないこと、社員のプライベートな時間を削ってしまうマイナスな要素もあり、会社としてバランスをとることも必要です。

◆関係会社や行政との連携

経済 7 に記載した他団体との連携は自社だけではカバーできなかったり、思いつかない取り組みだったりを創出できる可能性が高まります。一方で、1 つの取り組みを複数で行うため、利益が少なくなるようなことも想定されます。

取組	正の影響 主なキーワード	負の影響 主なキーワード
社会配慮型商品・サービスの提供	地域社会への貢献	収益性の低下
地域社会への貢献	地域社会への貢献	業務効率の低下
自社以外の経営資源の活用	他分野への事業拡大	収益性の低下

社会

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	労働災害の防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の安全衛生委員会を開催し、日ごろの業務の安全性の確認や対策等をおこなっている ・該当部署の技術局を中心に高所作業研修をおこなった。 ・社有車にはすべてドライブレコーダーとバックモニターを設置している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>事故0を目指す(2025年度まで)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会などで情報共有をおこない、対策を更新していく。 ・高所作業マニュアル等の作成
2	ハラスメントの防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職研修でハラスメントについても取り上げている。 ・スタッフからの相談などについてはヘルプデスクを経営戦略局に設置し対応している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>ハラスメントが発生しない職場づくり(毎年継続)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>定期的な研修をおこない社員及びスタッフ全員の理解を深める。</p>
3	女性の活躍	○	<p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 39.1%(2023年4月1日)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 13.9%(2023年4月1日)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用の際に性別の条件を設けず、能力や熱意などで判断している。 ・配属に関しても男女の職域を設けていない。 ・男女問わず、産休育休の取得が可能。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 45.0%(2026年4月)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 20.0%(2026年4月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産休や育休、時短勤務などを充実させ女性の離職率を低くする。 ・引き続き男女を区別しない人事評価制度の導入や、社内の企画提案コンペなどをおこなう。
5	多様な人材の活躍	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験者採用では、他業種やIJUターン人材の採用を積極的にすすめています。また、客室乗務員の兼業社員を受け入れ、コンテンツ制作で活躍してもらったりするなど、多様な人材の活用に力を入れています。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>多くのスタッフが積極的に業務へ取り組めるような人事制度の改定(2024年度)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p><継続的取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年での経験者採用活動 ・高齢者の再雇用 ・非正規雇用者を正規雇用へ ・有期雇用者の無期雇用への転換 <p><更なる取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・IJUターンの採用イベントへの参加 ・社内スタッフヒアリングを反映した制度改革
6	多様な働き方の促進	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イクボス・ファミボス宣言をして、男女問わず育児に参加できる環境にしている。 ・小学校就学前の子どもを養育する社員の短時間勤務、時差出勤取得推進制度導入。 ・在宅勤務可能なシステムやPC環境を整備しリモート勤務を可能にしている。 ・副業可能制度 ・連続休暇取得推進制度による有給休暇の取得推進。・5年に一度のリフレッシュ休暇 ・有給休暇の取得は雇用後6か月後ではなく入社と同時に付与している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>前例にとらわれないで家庭環境などに合わせた働き方を構築し、ライフワークバランスに配慮した業務内容にする。(2024年度)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>引き続き年3回のスタッフヒアリングを行い、家庭環境や要望などをヒアリングし、積極的に環境整備をおこなっていく。</p>

7	労働者への人権配慮	○	【主な取組】 ・コンプライアンス行動規範憲章3章に人権の尊重を明記しており、スタッフへの周知徹底をおこなっている。 ・鳥取市人権啓発企業連絡会に入会しており、人権標語への応募などで社員間の意識づけをおこなっている。 ・年3回、全スタッフにヒアリングを実施、ハラスメントなどの状況を確認している。 ・月1回、産業医に来社してもらい問診や健康相談が可能。 ・全スタッフを対象にストレスチェックをおこなっている。	【今後の目標・達成時期】 現在の取り組みを継続するとともに、互いの個性を尊重し、働きやすい職場づくりを行う（毎年継続） 【目標達成に向けた取組】 ヒアリング制度実施の際、スタッフの状況を把握し、事前の問題解決に努める。
8	社会配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に配慮した商品・サービスは環境9に記載してください</u>	○	【主な取組】 ・「アクション!みんなの防災」 地上波テレビ、Webコンテンツやイベント開催などを通じて防災について考え、準備してもらうことを目的にした企画。2022年にスタートし、パートナーズポンサーを集めて防災関連商品やサービスなどの広告に使用していただく。	【今後の目標・達成時期】 2023年 ・イベント開催を行い、来場者に防災の意識を高めてもらい、関連商品やサービスを知っていただく。 ・多くの協賛社を集め、収益性の更なる向上を目指す。 【目標達成に向けた取組】 ・行政と連携した県民に対する必要情報の提供システムを検討する。 ・新規スポンサーの発掘 ・多くのコンテンツでのキャンペーン展開
9	地産地消	○	【主な取組】 番組やインターネット上で地域の特産物を紹介し販売。県産品の売上とPRに繋げる一手を担っている。	【今後の目標・達成時期】 SNS等を活用し、ライブコマースを実施より多くの特産物にスポットライトがあたり地域の活性化につなげる。(2023年度) 【目標達成に向けた取組】 ライブコマースの実施を積極的におこなう。生産者を番組等で取り上げ、地域産業の活性化につなげる。
10	地域社会への貢献 <u>※環境に関する内容は環境10に記載してください</u>	○	【主な取組】 ・鳥取砂丘アダプト除草に参加 ・中海再生プログラムへの参加 ・テレビコンテンツやインターネットなどによる県産品の販売 ・24時間テレビの募金活動などによる福祉車両の贈呈。 ・少年サッカー大会、高校サッカー大会などスポーツイベントの開催。 ・地上波番組のロケを鳥取県市町村で行い各地のPRに貢献。 ・西郷工芸祭りへの協賛とテレビ露出	【今後の目標・達成時期】 開局65周年キャンペーンを行う。具体的には、防災イベントなど地域住民に役立つ情報提供を行う。自社主催事業を行い、地域との距離をさらに縮める。(2023年度) 【目標達成に向けた取組】 ・月曜から金曜の夕方帯に新情報番組「おびわんっ！」をスタートさせ地元の情報を毎日視聴者に届ける。(2023年4月10日開始) ・65周年キャンペーンに鳥取出身タレントの起用

経済

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	事業継続計画 (BCP)の策定 ★BCPを策定していること	○	【主な取組】 ・緊急災害事業継続計画を作成し、有事の際はそのBCPに従い行動。 ・ヘルメット、備蓄食品等の整備 ・全社員スタッフに緊急連絡網を配備、状況を把握。	【今後の目標・達成時期】 ・感染症対応マニュアルの策定(2023年) ・情報セキュリティ事業継続計画の作成(2023年) 【目標達成に向けた取組】 ・BCP計画に沿った訓練の実施 ・セミナーなどの参加し、各BCP作成に役立てる。 ・定期的な見直しと改定
2	セキュリティ対策	○	【主な取組】 ・専門部署を設置している(デジタル推進室) ・系列会社や社外で行われる勉強会や研修会への参加。 ・ウイルスソフトの定期的なアップデート。 ・全スタッフへのウイルスメールへの注意喚起を頻繁におこなっている。	【今後の目標・達成時期】 在宅勤務など、勤務環境の変化にも対応した対策をおこなう。(2023年) 【目標達成に向けた取組】 ・継続した勉強会や研修会への参加。 ・サイバーセキュリティサービス提供各社の内容や金額などを比較し、導入の検討をする。
3	法令順守の取組 の徹底 必須項目	○	【主な取組】 ・コンプライアンス行動規範憲章を作成し、HPに掲載している。 ・社内にコンプライアンス委員会を設けて、事前の対策と迅速な対応をおこなっている。 ・法令通り、社内規定を全社員が見えるようなシステムに。 ・顧問弁護士や税理士と定期的に連絡を取っており、あらゆることの対策や対応を相談できるようにしている。 ・新入社員研修や管理職研修などを実施している。	【今後の目標・達成時期】 法令違反を0に(毎年) コンプライアンス違反を0に(毎年) 【目標達成に向けた取組】 継続した社員研修を実施し、法令順守の徹底を一人一人に意識させる。 ・経験者、新入社員研修において、社員の一員である意識と法令順守の徹底を行う。
4	情報公開	○	【主な取組】 ・HP上やSNSなどにCSR活動やSDGs活動などを掲載している。 ・HPに個人情報の取り扱いや会社案内などを掲載している。	【今後の目標・達成時期】 積極的に情報や取組を公開することで地域とのかかわりやつながりを強くする。(毎年継続) 【目標達成に向けた取組】 自社の地上波放送番組だけでなく、WEB上やSNSなども積極的に活用し、あらゆる世代に情報が届くような取り組みをおこなう。
6	コロナなどの市場変化を見据えた対応	○	【主な取組】 ・コロナ禍でのテレビ視聴者の生活の変化に合わせたコンテンツの提供や情報提供をおこなっている。 ・スポンサーのコロナ対策費の予算動向などを調査し、企画提案をおこなっている。	【今後の目標・達成時期】 コロナ前の売上に戻すこと。また社会のニーズに合った新しい事業を見つけること。(2024年度) 【目標達成に向けた取組】 ・不動産事業や新しいコンテンツ制作の為に研修や視察をおこなうこと。関係会社や取引先と一緒にこなう事業の検討など。 ・オンラインでの商談をスムーズに可能にするためのパソコン等の更新

7	自社以外の経営資源活用	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・全国の日本テレビ系列各社との情報交換や連携をおこない、放送事業などに役立てる。 ・鳥取大学との連携協定を結んでおり、人材の確保や研究分野での新規事業の検討などをおこなっている。 ・読売新聞と鳥取県との農業での連携協定を結んでいる。 ・「鳥取砂丘除草ボランティア活動」や「古着 de ワクチン(古着を集めワクチンを開発途上国の子どもたちに寄付)」など、日ノ丸グループとの連携。 	【今後の目標・達成時期】 <p><2024年> 鳥取県・読売新聞との農業連携事業で、サービスやイベントの企画開催</p> <p><2025年までに> 地上波コンテンツやイベント開催などの既存コンテンツの充実や、経営の柱となるような新規事業による収入源の確保。</p> 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県と読売新聞と連携し関西からの農業バスツアーの企画と実施。 ・農業をテーマにした全国発信できるイベントの開催。 ・地域の大学などの研究内容から派生させた新事業の企画
8	デジタル化による生産性向上	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・社内申請をペーパーレス化し、WEB申請で運用。 ・CM素材や番組本編のデジタル化。 ・社内会議のペーパーレス化 	【今後の目標・達成時期】 <p>請求書の電子化をはじめとした経理業務のDX化(2025年)</p> 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・システム会社との連携を検討。 ・他社の先進的な取組を参考にするための研修参加。
9	雇用の維持・拡大	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップや通年採用、UIJターン就職説明会などに参加し、新卒や経験者採用をおこなう。 	【今後の目標・達成時期】 <p>新番組のスタートや、イベント開催などを行い、社内外のスタッフを増員する。(2023年)</p> 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業の研修や参入の検証、検討。 ・有期雇用から無期雇用など社内でのステップアップも積極的におこなう。
10	人材育成・能力開発	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ助成制度を設けて、社員の能力アップの手助けに。 ・人事異動などによるスタッフの経験値アップを促す。 ・副業を可能としており、社員個人の可能性を引き出す。 ・社内表彰制度の導入。 ・希望部署や業務内容などヒアリングの機会を設けている。 	【今後の目標・達成時期】 <p>様々なテーマで社内勉強会を毎月行う。 社員が講師になったり、社外から講師を招いたり、Web講習とつなげるなどし、他部署との連携強化や社員のレベルアップにつなげる。 (毎年継続)</p> 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・継続したスキルアップ助成制度や社内表彰など、社員のモチベーションアップを図る。 ・新人事評価制度の検討。

環境

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	【気候変動リスク・機会の分析・対策①】 自然環境の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・異常気象による社屋の停電 ・洪水による社屋のリスク ・台風や停電などによる停波 【分析に基づく主な取組】 ・蓄電池装置の設置 ・社屋周辺で洪水がおきた際、テレビ放送が可能なような機材配置や対策	【今後の目標・達成時期】 多くの災害リスクに備えた経営体制と、報道機関としての事業継続(2026年) 【目標達成に向けた取組】 ・設備の更新と追加などの対策。 ・緊急時マニュアルの作成
2	【気候変動リスク・機会の分析・対策②】 社会・制度の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・自社の業務や経営がどれだけ環境に配慮したのか問われている。 ・脱炭素、カーボンニュートラルの対する取組が会社イメージに直結している。 【分析に基づく主な取組】 ・社屋のLED化や空調の更新の際に県境への配慮をしたものを導入している。 ・スタッフ採用を目的とした情報開示の際、SDGs活動などをPRする。 ・山陰の報道機関として地域企業や団体などSDGsへの取組を紹介している。 ・防災をテーマにしたキャンペーンやイベントの開催。	【今後の目標・達成時期】 エネルギーの切り替えや自社CMキャンペーン、イベントなど、脱炭素を意識した取り組みを増やし、社内外にPRする。(2026年) 【目標達成に向けた取組】 ・カーボンニュートラル燃料への切り替え。 ・経理伝票などのペーパーレス化の実施。 ・報道、営業活動などに使用する社有車の入替時の電気自動車化やエコカーへの乗り換え。 ・行政や他企業との連携などによる防災キャンペーンの拡大と充実。
3	【環境負荷リスクの分析・対策】 自社の事業活動が引き起こす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・報道、営業活動でガソリン車を使用することによる排出ガス量。 ・24時間稼働する際の電力量と質。 【分析に基づく主な取組】 ・社有車の乗り換えの際、より燃費の良いものを導入する(過去、電気自動車を試験的に導入) ・社屋のLED化や廊下やトイレなどの自動オフ電灯の導入。	【今後の目標・達成時期】 県内の取り組み事例を報道番組等で取り上げて、視聴者により影響をあたえる。(毎年継続) 【目標達成に向けた取組】 番組で鳥取県内の取り組み事例を取り上げ、視聴者の動機付けをするとともに、当社も参考にしている。
4	【カーボンニュートラル①】 <省エネ>燃料消費量の削減 重点項目	○	<KPI> CO2排出量 76t-CO2/年(2022年3月時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)でも可 【主な取組】 ・発電機の更新の際、最新の省エネ商品に入れ替えている。2021年に本社屋の非常用発電機を更新した。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2排出量 73t-CO2/年(2024年時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)や基準年に対する削減割合目標などでも可 【目標達成に向けた取組】 ・全社の社有車の更新の際に電気自動車やハイブリッドなどのエコなものに。 ・番組中継などで使用する発電機の高効率化

5	【カーボンニュートラル②】 <省エネ>電力消費量の削減 重点項目	○	<KPI> CO2 排出量 723t-CO2/年(2022年3月時点) 【主な取組】 ・全館 LED 化完了 ・トイレなどの自動電源 ON/OFF 機能設置 ・全フロア 18 時でのエアコン OFF ・クールビズとウォームビズの推奨	【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 715t-CO2/年(2024年時点) 【目標達成に向けた取組】 ・照明やスタジオ設備などの省エネ性の高いものへの更新 ・省エネの空調機の更新
9	環境配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	【主な取組】 ・「アクション!みんなのミライ」子どもたちに地球や環境保全について考えてもらうきっかけ作りを目的に、環境絵画コンクールや、環境絵本「地球の秘密」の読み聞かせなどを行う。協賛社を集めて広告活動やイメージアップにお役立ていただく。 ・「地球の秘密」の絵本を基にしたミュージカル「あいと地球と競売人」の実施に特別協賛しており、番組等でも取り上げている。	【今後の目標・達成時期】 既存のコンテンツを拡大、充実させることと、新たなコンテンツの創出(2024年) 【目標達成に向けた取組】 ・協賛スポンサーへの営業提案やヒアリングを行う。 ・行政などの他団体とのキャンペーンを模索する。
10	環境面での社会貢献 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	【主な取組】 ・中海再生アダプト活動、鳥取砂丘アダプト除草に参加している。 ・島根県宍道湖夕日スポット清掃に参加。 ・「アクション!みんなのミライ」と題して、子どもたちに地球や環境について考えてもらうきっかけづくりをしている。 ・日ノ丸グループ「砂丘をきれいにするプロジェクト」を実施。	【今後の目標・達成時期】 SDG メディア・コンパクトとしての役割の拡大。地域の取組に積極的に参加する。(2023年) 【目標達成に向けた取組】 ・地域の取組に出来るだけ多くの社員が参加できるように活動の日時設定などの工夫をする。 ・行政などと連携した保全活動の参加。